

講義名	対)スポーツ科学演習B(ゴルフ)			
担当教員	坂井 隆秀			
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 3時限	授業形態	演習	
履修開始年次	2年生	単位数	2	備考

**主題と概要**

ゴルフは、手軽に行うことの出来るスポーツとして以前とは異なり環境が整備されてきた。そのため性別年代を問わず広く楽しめる生涯スポーツのひとつとして捉えられている。しかし皆が気持ちよくゴルフを楽しむためには、技術の習得のみならず、ルール・マナーを守ることにより、お互いが気持ちよくプレーする事や、事故などのトラブルを回避することも学ばなければならない。本授業では、ゴルフの技術、ルール、マナーなど全般的な事を理解する。そして実践のために必要なプレーヤーとして正しい知識の習得を目的とする。

**到達目標**

1. 「健康」獲得の方法を修得できるようになる。  
2. 歴史やルール、応用技術・基本動作を理解し、説明できるようになる。  
3. 応用技術、基本動作を修得し、生涯にわたるスポーツ実践の礎とすることができるようになる。  
\* オンデマンドでの受講では、以上の到達目標を達成することが難しい。このため、対面授業とする。  
ただし、新型コロナウイルス感染症の感染者、または、濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止となった学生については、その期間のみ課題学修などによって対応する。

**提出課題**

ゴルフプレーを円滑に実施するためのルール・マナーについて理解し、習得しているかレポートの提出を課します。

**課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック**

提出された課題・レポートに対してコメントをつけて返却します。

**評価の基準**

\* 授業実施時間数の4回以上欠席したものは単位を認定しない。  
\* 授業中の評価：受講態度・実技点など・・・80%  
\* 中間期の評価：レポート課題・・・10%  
\* 期末期の評価：レポート提出・・・10%  
\* 新型コロナウイルス感染症予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、その時に詳細を伝える。

**履修にあたっての注意・助言他**

ゴルフ初級者を対象に授業を進めていきます。  
参加者により授業内容を変更する場合があります。  
授業前・後は必ずマスクを着用することとし、授業中については教員の指示に従うこと。

教科書				
.使用しない。				

**プリント資料及び参考文献**

**授業計画**

第1回 ガイダンス 本授業の目的、進め方、評価等について  
第2-3回 スイングの練習 自分に合ったグリップやスタンスを見つけてみる  
第4回 アイアンスイング アイアンのスイングを知る  
第5-7回 アイアンショット 様々なアイアンの実践  
第8回 講義 映像を用い、様々な練習方法を学習する  
第9回 ドライバーショット  
第10回 フェアウェーウッドショット  
第11-13回 コントロールショット アプローチ パンカー、パッティングの実践  
第14回 コースデビューのために コースデビューのシミュレーション  
第15回 まとめ  
\* 新型コロナウイルスの状況により、接触の恐れのある練習内容については実施できないこともある。

**授業形態(アクティブ・ラーニング)**

ア: PBL(課題解決型学習)	イ: 反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ: ディスカッション、ディベート	エ: グループワーク
オ: プレゼンテーション	オ: 実習、フィールドワーク
キ: その他(A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合)	

**準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間**

本学では、学期上、2単位を修得するためには、15回の授業と、1回の授業に対して、4時間の予習・復習等の教室外学習が必要であるとされている。  
紳士、淑女のスポーツとされる「ゴルフ」に触れるにあたり、ルールやマナーについて事前に理解を深めておく必要がある。また、技術は一度の練習で身につくものではないので、毎授業後、繰り返し反復練習をすることが望まれる。

**卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連**

本科目を受講し、目標を達成することで、本学の学生が卒業時に共通して身につけておくべき資質・能力の5項目および、健康スポーツ科学のカリキュラムポリシーへ貢献することができる。  
集団や個人でスポーツ実践に取り組む中で、明るく元気な、どのような場所でも物怖じすることなく、誰とでもしっかり言葉を交わすことができ、逆境でもたくましく生き抜く力、つまり「ネアカ」のびのび「こたげず」の精神を育むことができる。また、問題点やその要因を捉え、自分が確信を取り始めるようになる。そして、他者に働きかけ、協力して課題へ取り組みことにより、円滑なコミュニケーションをとることができるようになる。  
生涯にわたってスポーツに関わったり、健康の維持・増進に努めたりすることができるような知識を得て、理解することができる。  
以上は、全学部・学科の所属学生へ共通している。

**双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述**

「本科目については対面授業のため、実技を中心とした授業展開となる。」ただし、「新型コロナウイルス予防対策として、全ての授業がオンラインに変更された場合については、オンラインによって授業を実施することになるので留意すること。」

**実務経験の有無及び活用**

**備考**